

令和4年9月20日

保護者の皆様

高田中学校 校長 横田 由美子

～誰一人取り残さない学びの機会を～ 『横浜どこでもスタディ』（通称：どこスタ）
『(たか中) 横浜どこでもスタディ』について

横浜市では、コロナ不安やその他、様々な事情で学校に登校できない児童生徒が、自宅などで授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を「横浜どこでもスタディ」（通称：どこスタ）として、各学校で行うことになりました。

高田中学校では昨年度からオンラインの授業配信や、GIGA スクール構想推進を試行錯誤しながら進めて参りましたが、これまでの取組を『(たか中) 横浜どこでもスタディ』（通称：たか中どこスタ）として継続実施し実現致します。

『(たか中) 横浜どこでもスタディ』（通称：たか中どこスタ）

目的：①コロナ感染拡大防止 ②学びのつながり

対象：①物理的にコロナ関係で学校に来られないが、家庭からの参加が可能な生徒
②（体調不良、学校への来づらさなど特別な事情があり）家庭からの希望があり学校側でも教育的観点から『(たか中) 横浜どこでもスタディ』（通称：たか中どこスタ）参加が当該生徒の学びに適切と考えられる生徒

取組1 オンライン授業配信

オンライン授業参加方法や授業参加にあたっての詳細は、「令和4年度におけるオンラインによる授業配信の再開にあたって」（令和4年4月22日 COCOO 配信）を参照ください。

取組2 配布資料のアップや課題の提出

授業などでデジタル（Classroom など）で配布された資料や、デジタルで共有された作品や成果物は、家庭などから確認することができます。同様に、デジタルで出された課題は家庭などから提出することができます。*デジタルでの配布、課題提出を行った授業に限ります。

取組3 デジタル学習教材の利用

必要に応じてAIドリル、デジタル教科書、独自撮影動画などを家庭などで利用することがあります。

取組4 保護者生徒との ICT を利用したつながり

・保護者：COCOO ・生徒：(状況、必要に応じ) Classroom など

連絡先 副校長 長谷部宏行 591-4183